

(第1号議案)

1. 総括

陽だまりは2016年度から財務体質の改善を急務の課題と位置付け、各事業の黒字化に取り組んできました。2017年度は、年間270万円の赤字事業であった「放課後こどもくらぶ」が東広島市の補助事業となったことで、法人全体の収支を大きく改善することができました。しかしながら、これは従業員の給与を同業他社と比較して低く抑えた結果であり、従業員の処遇改善は依然として大きな課題となっています。

一方で、たすけあい活動である「陽だまりクラブ」に寄せられる依頼は、介護保険の厳格化と施設職員の人材不足の影響で、2000年開始当初の「ちょっとした困りごと」から「専門的で高度な内容」へと変わってきています。そのため、2018年3月から専門知識と経験を有するコーディネーターを常勤配置し対応しているところです。これまで長きにわたり利用料を据え置いて運営してきましたが、2018年度は寄付収入を100万円と見積もっても約130万円不足する予測であり、今後は利用料の再検討も必要となってくるかもしれません。そのような状況下ではありますが、2018年度は引き続き「陽だまりクラブ」の成果や価値を広く社会に伝え、寄付や助成金といった支援が得られるように取り組んでいきます。

今、福祉分野では人材不足が大きな社会問題となりつつあり、「働き方改革」も大きな関心事となっています。陽だまりでも人材確保は重要な課題であり、そのためには若い従業員がやりがいと希望を持って働ける環境にしていかなければなりません。冒頭に述べたとおり、給与の改善をはじめとした処遇改善は最重要課題であり、中長期計画を作成して長期的に取り組んでいきます。

2. 事業報告

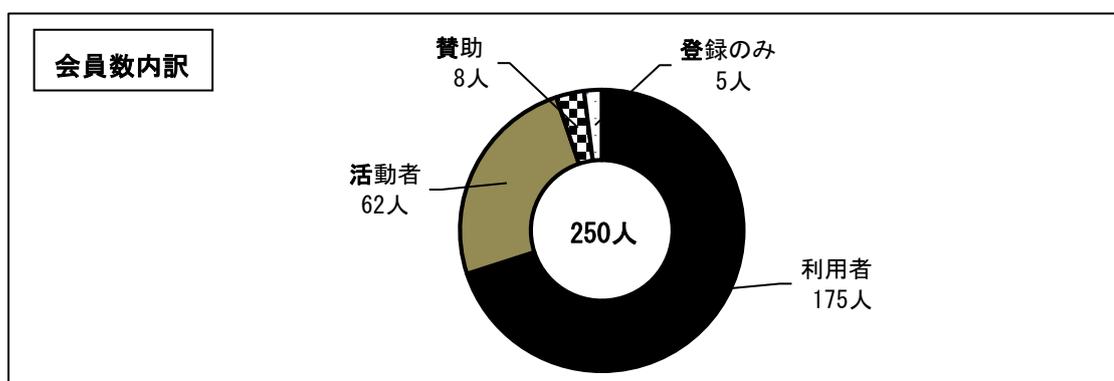
(1) 陽だまりクラブ（非営利事業）

① 目的

陽だまりクラブは会員制のたすけあい活動です。地域の人々がお互いに助け合うことを趣旨とし、家事や介護といった身の回りのことをはじめ、生活での困りごとをお手伝いします。

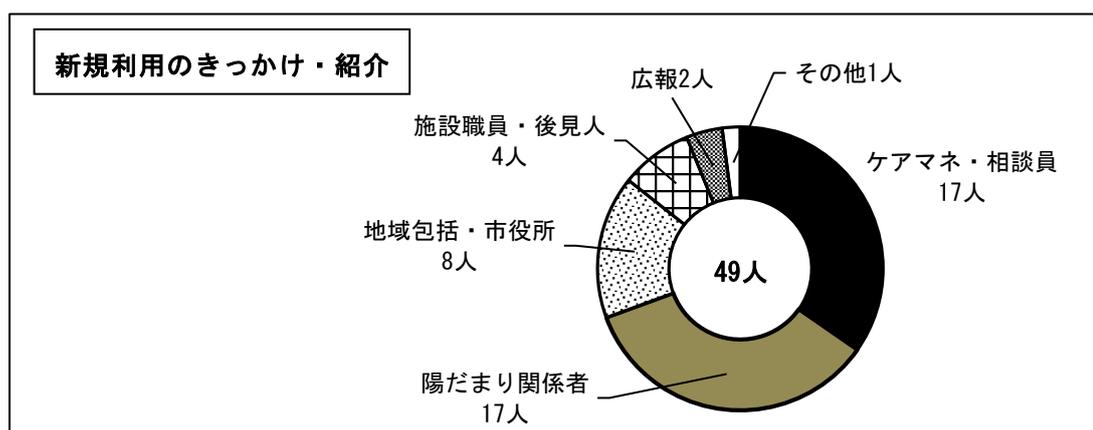
② 会員について

②-i 会員数

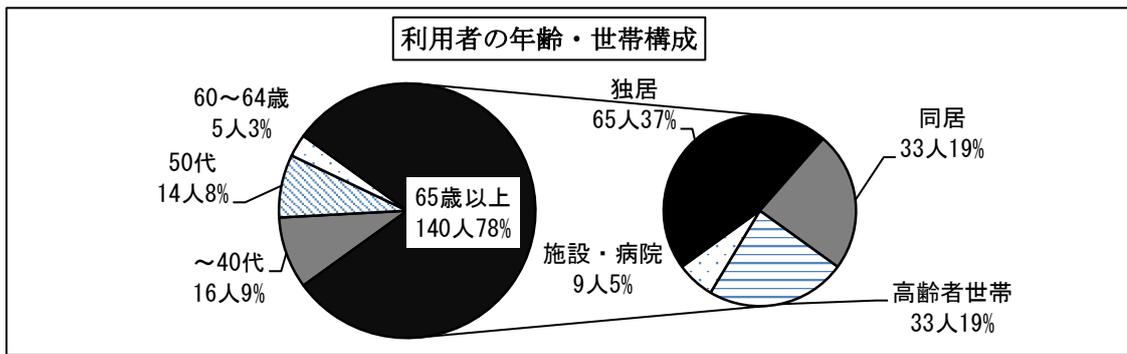


- 全体の会員数内訳は前年度とほぼ同様でした。

②-ii 利用者について

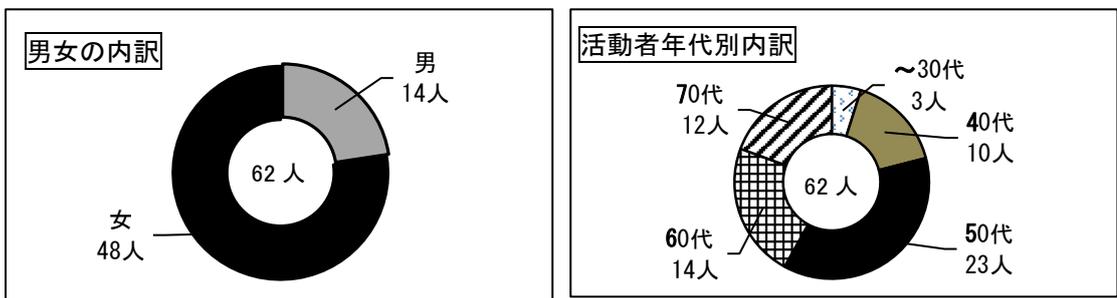


- 新規利用者は前年度より 4 人の増加。地域包括支援センター・市役所からの紹介が前年度の 3 人から 8 人に増えました。
- ケアマネジャー・相談員からの紹介も 14 人から 17 人に増えています。
- 陽だまりクラブの利用が低料金で、ヘルパー利用と比較すると活動の範囲、時間制限、利用条件の制限がないところが選ばれている理由に思われます。又、施設職員の人材不足を補う形での活動を求められている所もあり、より専門的な知識と対応が求められているように感じます。

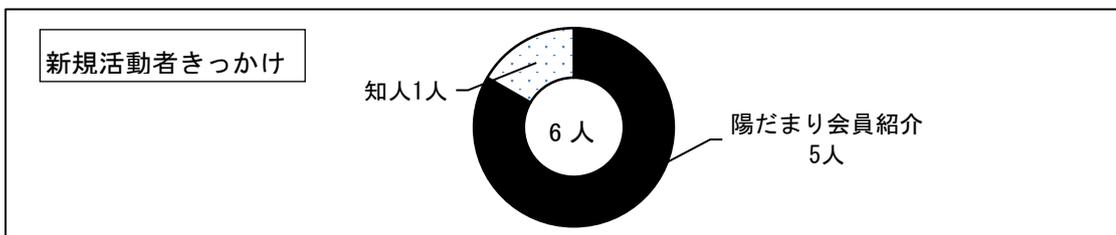


- 前年度よりも65歳以上の利用が12人増加しています。65歳以上で家族と同居している人の利用も33人あり、陽だまりクラブの活動を求められていることが伺えます。

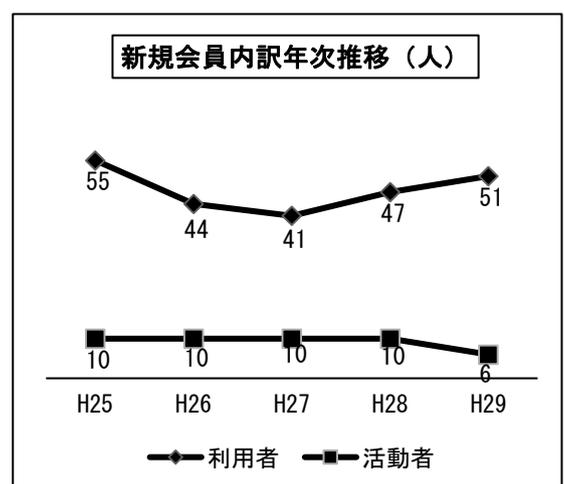
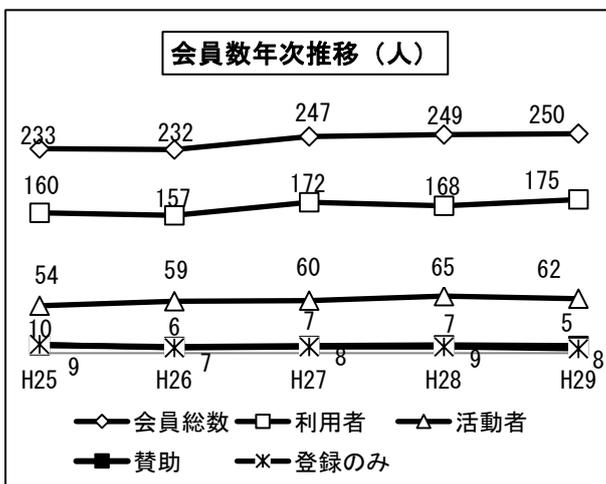
②-iii 活動者について



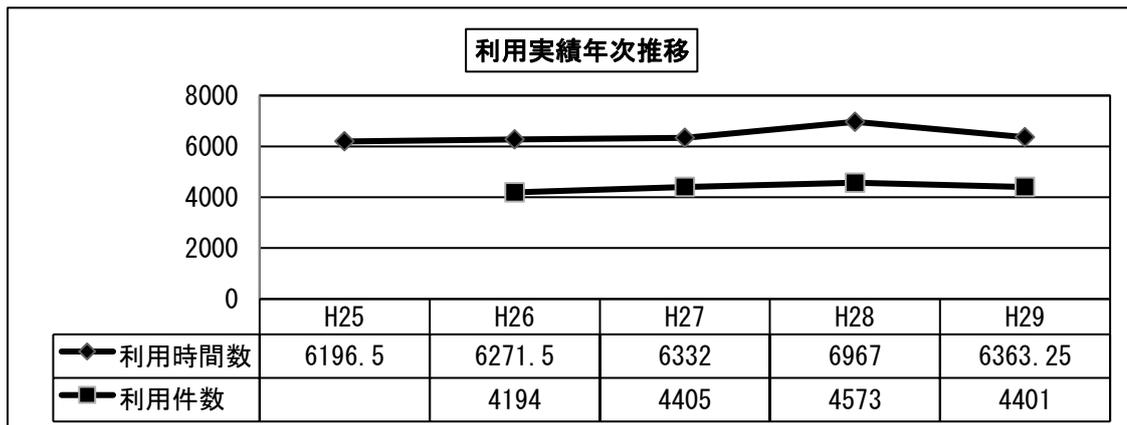
- 男女の内訳は前年度とほぼ変わりありません。
- 年代別では60代以上の登録が4割となっています。退職後又は子育て孫育てが終わった後の居場所の一つになっているように思われます。



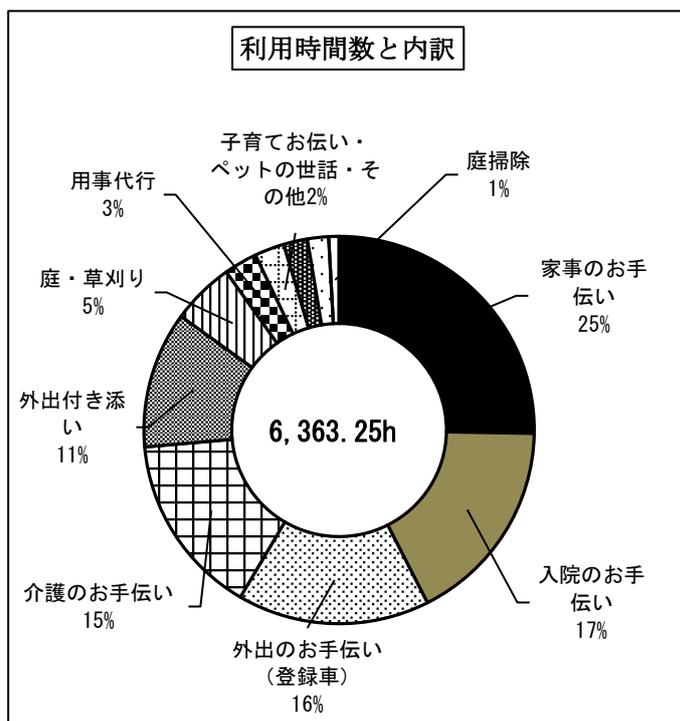
- 新規活動者の登録のきっかけは、陽だまり関係者からの紹介がほとんどで、2017年度に広報やチラシを見ての申し込みはゼロでした。新規活動者申込者には、「募集の広告を複数回見て気になっていた。」と言われる方もおり、広告を出し続ける必要性はあると思われます。



③ 実績報告



- 利用時間数は昨年度よりも 603.75 時間減、利用件数は 172 件減でした。草取りの活動減少と、ほぼ毎日複数回利用されていた方の利用が減少したことが主な要因と思われます。



内容	時間数
家事のお手伝い	1452.75
入院のお手伝い	991.25
外出のお手伝い（登録車）	914.75
介護のお手伝い	871.5
外出付き添い	654
庭・草刈り	299.5
用事代行	158.5
子育てのお手伝い	141.5
その他	113.75
ペットの世話	100.25
庭掃除	49.25

[内容例]

- 家事のお手伝い・・・食事の支度、買い物、掃除、洗濯など
- 介護のお手伝い・・・身体介護、話し相手、見守り、デイサービスの送り出し、入院中のお世話など
- 子育てのお手伝い・・・家事代行、託児、子守り、産前産後のお手伝いなど
- 外出のお手伝い（登録車）・・・陽だまり号や活動者の車を使って外出
- 外出のお手伝い（公共交通機関）・・・電車、バス、タクシーを利用して外出
- その他・・・草取り、ペットの世話、用事代行、大掃除、引っ越し手伝い、ゴミ捨て、日曜大工など

④ 研修報告

④ - i 主催研修

	開催日	内容	講師	受講生
1	5/20 ・ 5/21	第1回福祉有償運送運転者講習会 (認定講習/セダン講習)	・ 又吉孝次氏 (理学療法士) ・ 反信満明氏 (広島県交通安全協会)	25人 ・ 外部24人
2	9/30 ・ 10/1	第2回福祉有償運送運転者講習会 (認定講習/セダン講習)	・ 柴田邦宏氏 (理学療法士) ・ 反信満明氏 (広島県交通安全協会)	19人 ・ 外部18人
3	1/15	活動者のつどい ①講義: 事例紹介、アンケート結果報告等 ②フリートーク: 「陽だまりで出来たらいいな」	陽だまり事務局スタッフ	13人 ・ 活動者7人 ・ 事務局6人
4	3/18	安全運転講習会	広島県東広島警察署交通課 西田忠彦氏	運転活動者19人 ・ 補講3/30・2人

⑤ 社外活動

⑤ - i 広島県移動サービスネットワーク (平成23年12月発足)

月日	内容	主催	参加者
6/29	「安心して暮らし続けることができる地域づくり」 ～移動手段に関する制度と活動紹介～	高屋地域関係者ネット ワーク協議会	宮本、塩谷、 石井 (講師)
11/25	中国地区移動サービスネットワーク交流会 in 広島 「誰だって出かけたたい!! 住民参加で支える移動サービス」	広島県移動サービスネ ットワーク他	21団体 46人

※ 会長を宮本理事、事務局を陽だまりが担当。

⑤ - ii NPO法人全国移動サービスネットワーク

月日	内容	場所	参加者
6/17	・ NPO法人全国移動サービスネットワーク通常総会 ・ 「高齢者の移動・外出を支える施策とサービスをどう創るか」	東京都港区 田口交通ビル	宮本
3/4	第2回通常理事会	東京都 千代田プラットフォームスクエア	宮本

※ 平成27年度より宮本理事が全国移動ネットワーク理事に就任。

⑥ 課題と方針

- 2017年度は新規活動者の申し込みが6人に留まりました。現活動者もドライバーの定年、体力、年齢を理由として退会する人もおり、新規活動者の獲得が必須の課題となっています。2018年度は新規活動者を増やすために、広報活動 (活動者募集のチラシ作り・施設、企業への配布) を積極的に行う方針です。
- 現活動者に対しても、陽だまりクラブでの活動が自身の生活をより楽しく充実させていると感じてもらえるよう、活動者同士のつながり作りになるようなイベントを開催予定です。

(2) 訪問介護（営利事業）

① 目的

- 介護を必要とする方が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、また、介護をしている家族の負担を軽減できるよう支援をします。

② 実績報告

② - i 利用者実数

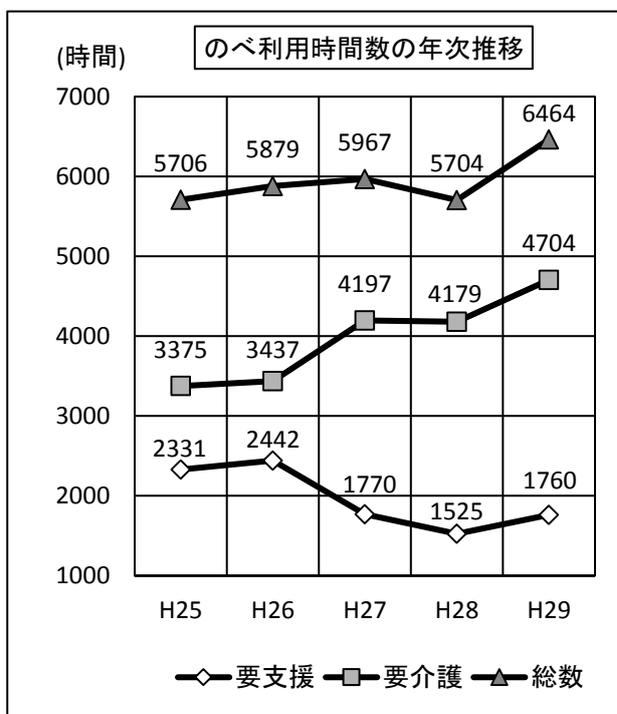
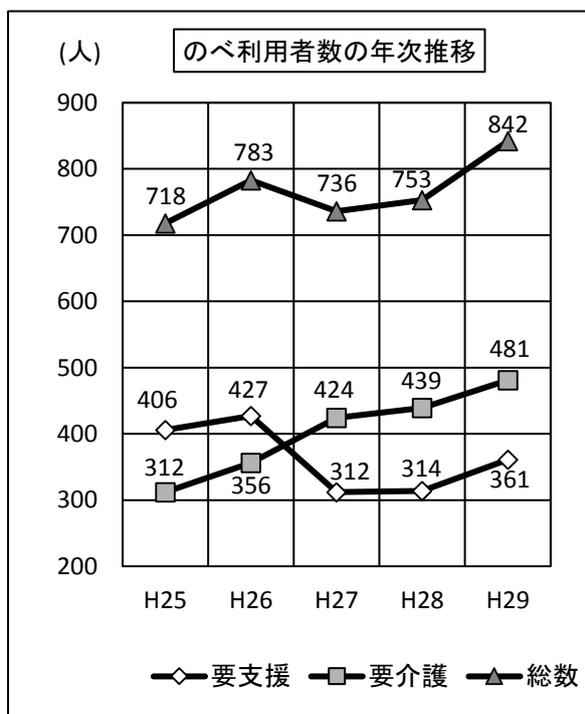
2018年3月31日現在（人）

事業対象者※注1)	介護保険					障害者 総合 支援	計		
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3				
2	19	13	20	8	6	3	2	5	78

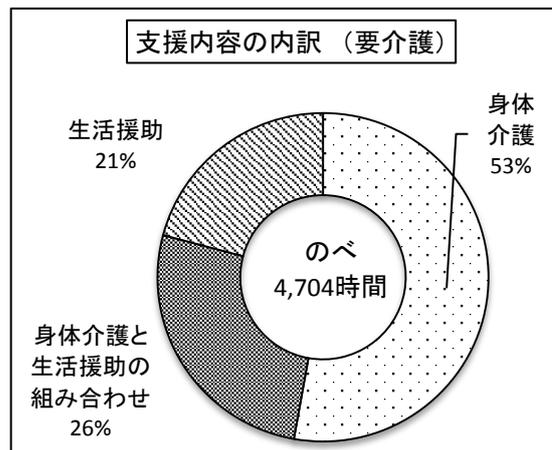
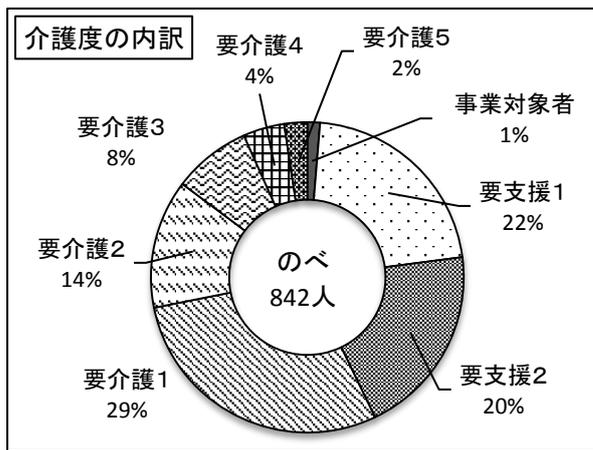
※注1) 事業対象者・要介護認定がなく、基本チェックリストに該当し、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスを利用している方。

- 管理者（サービス提供責任者と兼務）1人、サービス提供責任者2人、登録ヘルパー14人で事業を行いました。
- 事業収益は、前年比13.8%増となっています。

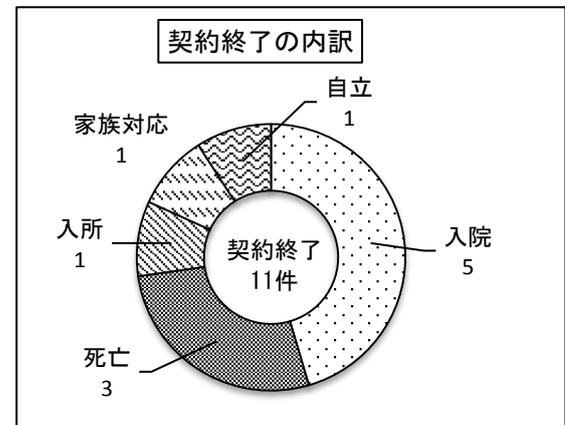
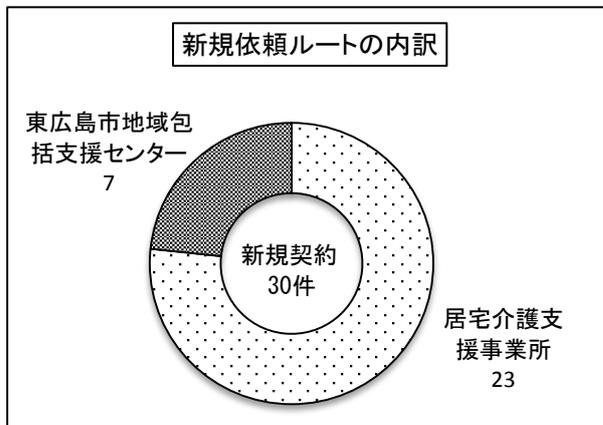
② - ii 介護保険



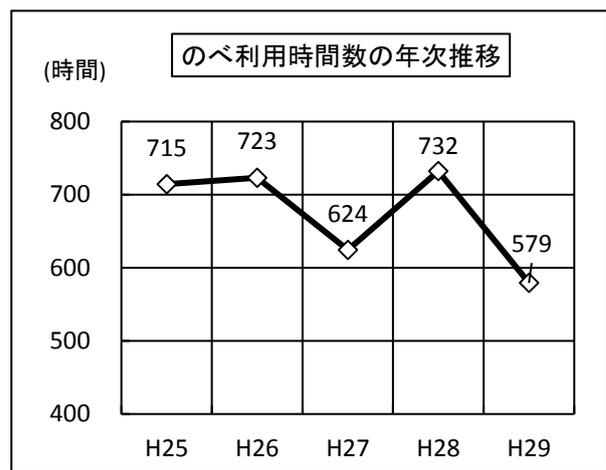
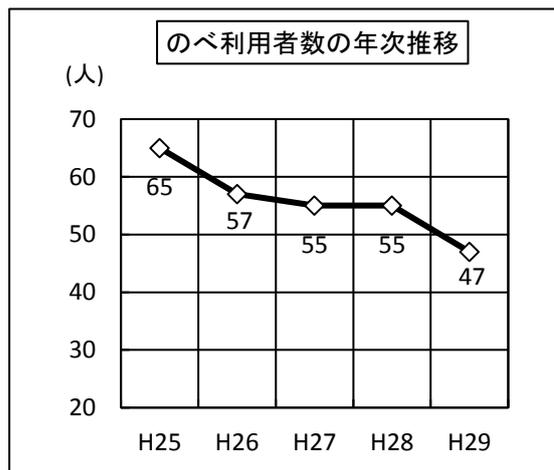
- 利用者数の前年比は、要支援115%、要介護109.6%、介護保険全体では、のべ89人（11.8%）の増加となりました。



- 介護度の内訳は、2016 年度とほぼ同様の割合でした。
- 支援内容の内訳は、2016 年度に比べ身体介護が 3%増、身体介護と生活援助の組み合わせが 6%減、生活援助が 3%増となっています。



② - iii 障害者総合支援



- 毎月 15 時間程度利用のあった方が就職に伴い 2017 年 4 月から事業所を変更し、利用者数、利用時間数共に減少しました。新規契約が 2017 年 6 月と 2018 年 3 月に 1 件ずつありました。
- 利用時間数は、2016 年度と比べ 21%減少しています。

③ 研修報告

③ - i 社内研修

- 倫理・理念・法令順守などの課題研修を 11 回、実技研修を 6 回実施し、研修参加率は、課題研修、実技研修とも 90%でした。
- 移乗・移動の実技研修では、社外で介護技術研修に参加したヘルパー3 人が講師役となったことでさらに技術を身に付け、習う方は身近な仲間が講師役ということで気軽に何度も確認をすることができ、有意義な研修になりました。
- 課題研修後のケアカンファレンスは、2016 年度と同様に新規利用者や状態の変化のある利用者を重点的に行いました。今後もきめ細かいサービスを提供できるよう取り組みます。

③ - ii 社外研修

- 認知症、依存症、障害福祉サービス、介護保険制度の動向、介護記録の書き方、介護技術等をテーマとした研修に年 12 回のべ 26 人参加し、スキルアップに努めました。

④ 社外活動

- 毎月行われている東広島市自立支援協議会ヘルパー支援部会にサービス提供責任者が参加し、手話の勉強、他事業所との情報共有、ヘルパースキルアップ研修の企画、あいサポートフォーラムでのパネル展示やヘルパー不足対策などヘルパーが元気になるような取り組みを行ってきました。東広島市障害福祉課の担当者から国の方向性や生活保護制度、地域生活支援拠点の説明なども聞くことができました。

⑤ 課題と方針

- 2017 年度は、「身体介護のできる事業所づくり」に取り組みました。社内の実技研修は 3 年間継続し、基本的な技術を身に付けることができました。2018 年度は、「現場での判断力の向上と技術指導ができるヘルパーを育成する」を目標にしています。ヘルパーは、利用者や家族に専門的な技術を伝える、他のヘルパーに伝達指導ができる、サービス提供責任者は新しい技術の習得をする、制度の理解を深めるなどサービスの質の向上に努めます。
- 2017 年 5 月からサービス提供責任者が 3 人になり、お互いのサービスをカバーできる体制作りに取り組みできました。新規の担当者会議または初回サービスに同行する、訪問回数が増えた場合に他のサービス提供責任者がヘルパーとしてサービスに入ることでサービス内容を把握し、稼働件数の 52%をカバーすることができました。2018 年度は、全ての利用者で主担当と副担当を決め、主担当が不在時にも指示が出せる体制にしていきます。
- 2017 年度は、登録ヘルパーが 2 人退職し、2 人採用しました。現在サービス提供責任者 1 人あたり平均 26 件を 30 件に増やすため、今後も不足している土日祝日に対応できるヘルパーを募集します。

(3) 居宅介護支援（営利事業）

① 目的

- NPO法人として培った柔軟性・情報力・ネットワークを生かし、本人・家族の希望する生活の実現の為にケアマネジメント事業に取り組みます。

② 実績報告

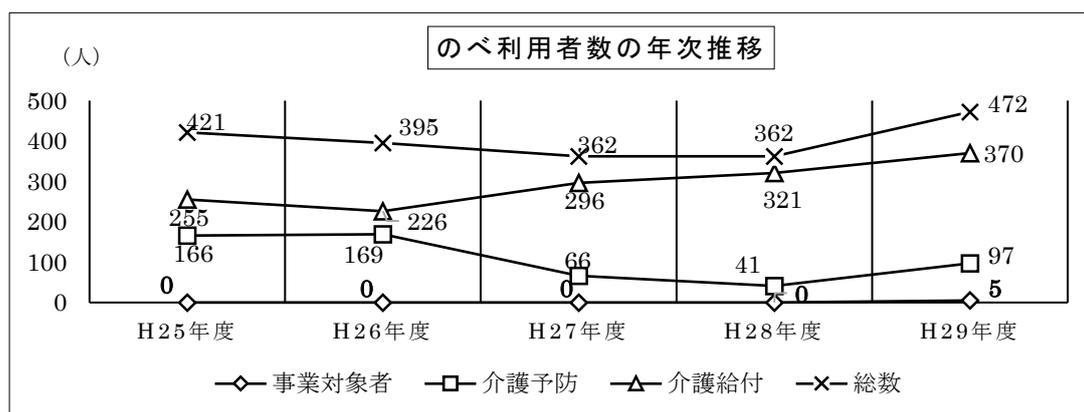
利用者実数

2018年3月31現在（人）

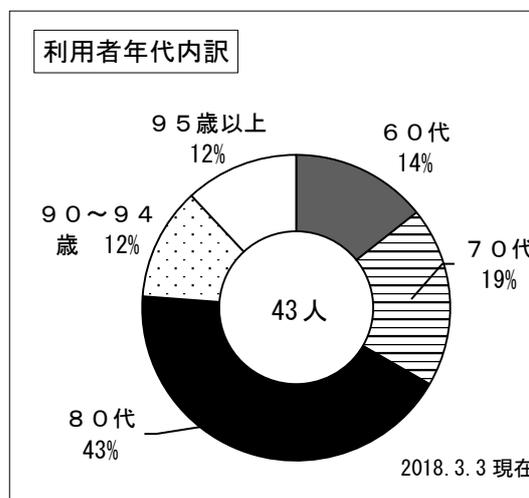
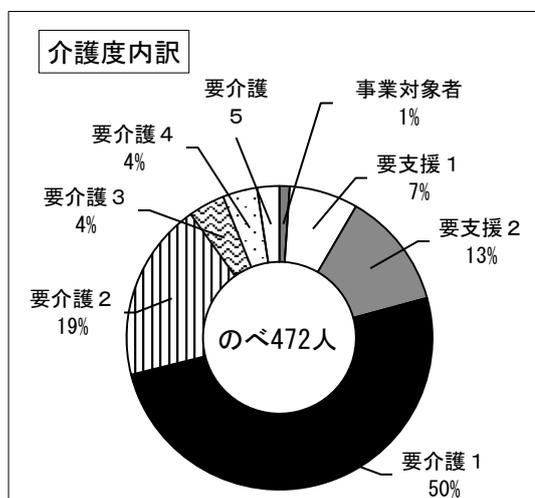
事業対象者※)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1	4	6	19	8	3	2	0	43
11	32							

※) 事業対象者…要介護認定がなく、基本チェックリストに該当し、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問介護、通所介護のサービスを受けている方。

- 2017年度は常勤2人体制（管理者との兼務1人・専従1人）で行いました。
- 事業収益は、前年比20.5%増となっています。

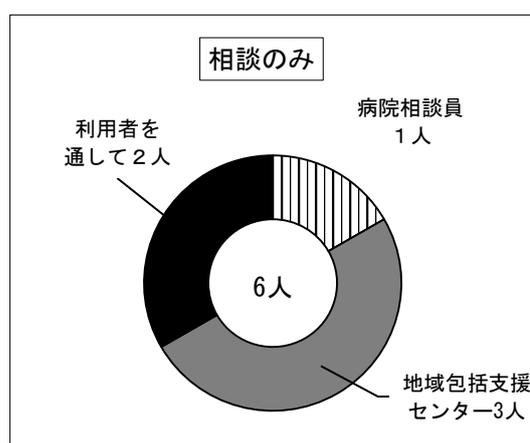
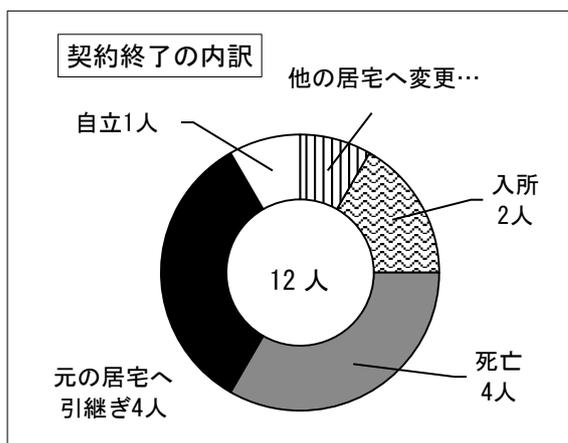
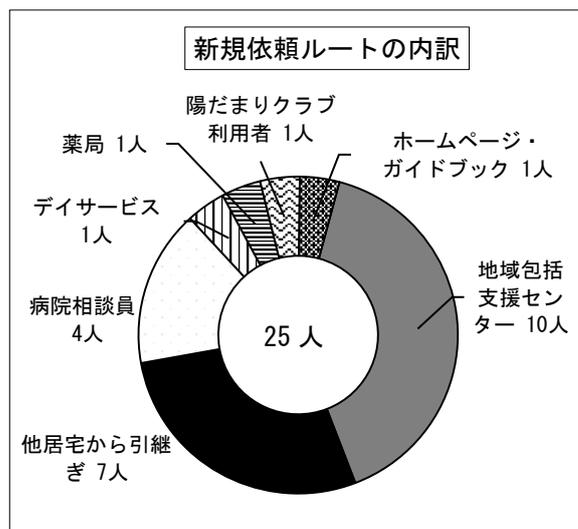
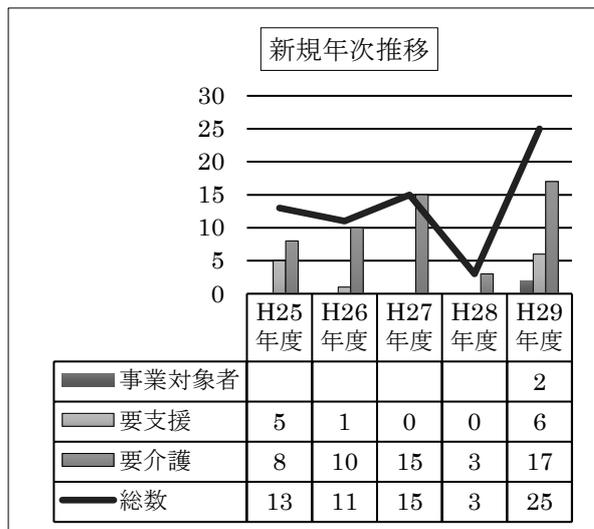


- 利用者数の前年比は、要支援240%、要介護115%、全体ではのべ110人（130%）の増加となりました。



- 介護度の内訳は、全体の7割が要介護1までの軽い方が多いのが特徴です。

- 利用者の年代は、全体の1/4が90歳以上と高齢化が窺えます。
- 独居・高齢者世帯の利用者は全体の4割を占め、その内6割が陽だまりクラブを利用し、外出・通院・庭の掃除・話し相手など介護保険との併用をしています。



③ 研修報告（社外研修）

- 医療をテーマとした研修に7回、その他薬、対人援助技術、認知症などの研修に13回、年間を通して計20回のべ35人が参加しました。

④ 課題と方針

- ケアマネジャーの活動や気づきをホームページやフェイスブックで紹介し、新規利用者の相談窓口としての役割を目指します。
- 2018年度は新たに関係事業者へのアンケートを実施し、業務改善と資質向上に努めます。
- 2017年に引き続き、三ツ城住民自治協議会西条中央支部の福祉部会へ参加し、地域と顔の見える関係作りを目指します。また、認知症サポーター講習会など、社会福祉協議会や地域包括支援センター主催事業への協力に努めます。
- 2018年4月は市川15人、石井30人の担当件数でスタートしました。事業の黒字化を目標に常勤3人体制に向けて新規利用者20人増を目指したいところですが、現在の体制では新規受け入れはあと5人までが現実的です。

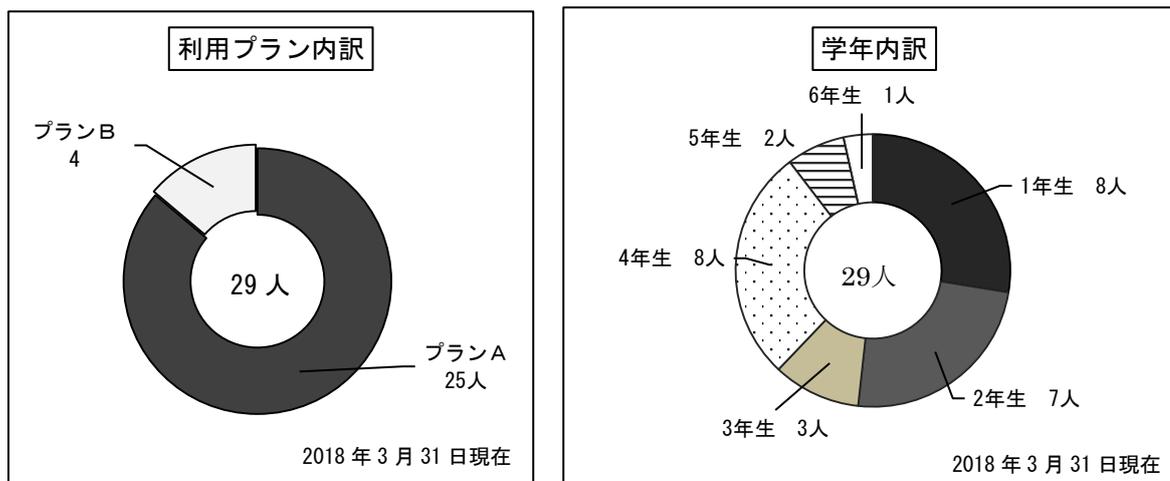
(4) 陽だまり放課後こどもくらぶ(営利事業)

① 目的

- 「じぶんを大切にできる子どもを育てる」をモットーに、2013年度から2016年度までは東広島市の公立学童保育「いきいきこどもクラブ」を利用できない子どもを主な対象にしていました。2017年4月から「東広島市民間いきいきこどもクラブ」の認定を受け、東広島市から補助を受けて事業を推進しています。

② 実績報告

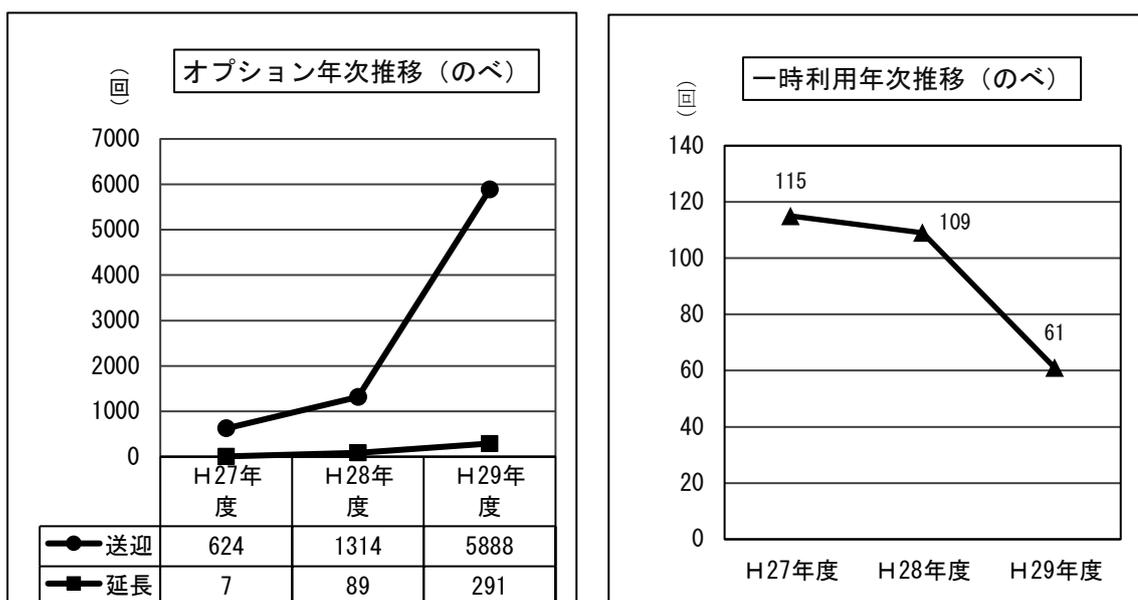
② - i 利用登録実数



※ プランA（定員25人）・・・東広島市の利用要件を満たす児童が対象

※ プランB（定員3人）・・・東広島市の利用要件を満たさない児童が対象

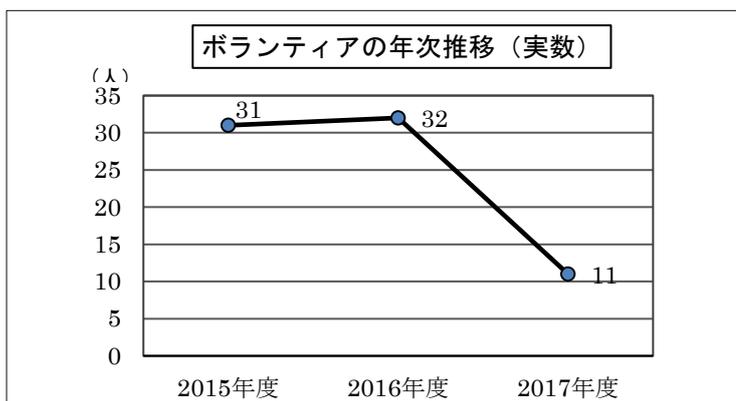
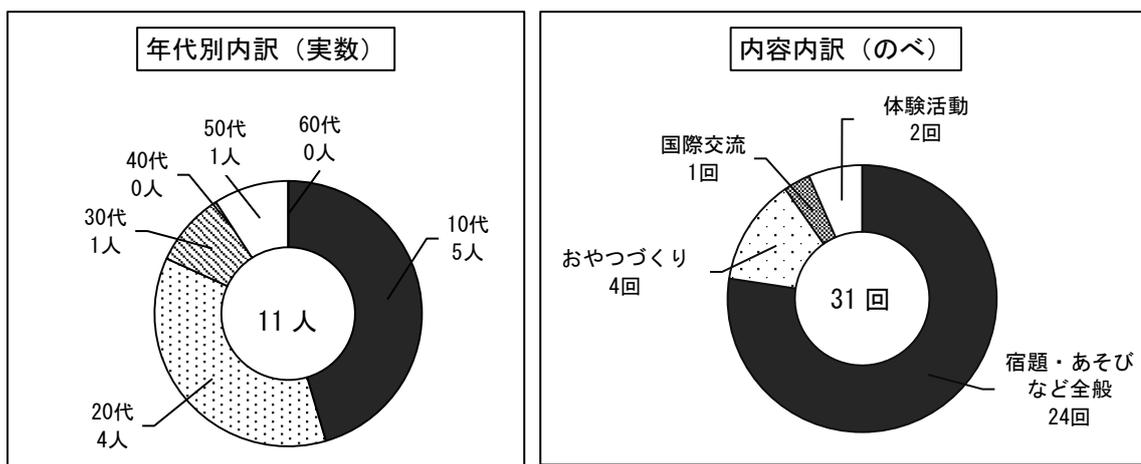
② - ii 送迎・延長利用



- 送迎は全体の6割の子どもが利用し、延長は前年度の3倍と増えています。1人で塾やお稽古に行かせることへの不安、家族の手が不足している子育て環境であることが窺えます。
- 一時利用の主な利用目的は、保護者の通院や仕事、きょうだいの通院、学校行事への参加、塾の送迎、臨時休校等の突発的な事由の他、長期休み中のスポット利用でした。

③ ボランティア

③ - i 放課後のボランティア



- 放課後ボランティアは、市のボランティア支援センター経由の高校生や、ホームページを見た広島大学の食育ボランティアサークルの他、学生個人の参加がありました。

③ - ii 送迎のボランティア

登録実人数

(人)

運転ボランティア	徒歩ボランティア	合計
4	1	5

- 送迎ボランティアは目標10人に対し5人だったため、他事業スタッフの応援を得ました。

④ 研修報告

- 2017年度の研修テーマは「発達障害と子どもの理解」とし、外部研修に計5回のべ16人が参加しました。
- 内部研修は6・8・10月に行い、同時にスタッフミーティングも実施し情報共有を行ないました。

⑤ 社外活動

	月日	テーマ	主催	参加者
1	6/11	総会及び交流会 ※ゆめもくばと陽だまり見学	ひろしま子育て支援 NPO 協議会	山本

⑥ 課題と方針

- 保護者交流会（7月）と個人面談（9月末）を実施し、保護者との情報共有と連携を図りました。個人面談の参加率は100%でしたが、保護者交流会の参加は保護者全体の23%に留まりました。2018年度も7月に実施しますが、早めに（6月）通知することで参加しやすい環境を整えます。
- 体験活動では学生団体や地域の協力の結果、当初の計画以上に企画することができ、クッキングや工作を主に遠足やスケッチなどの野外活動、国際交流などを計24回実施しました。また保護者アンケートを反映して、夏休みのプール・子ども主体の夏まつりやそうめん流しを行いました。2018年度も昨年度と同程度の回数で企画していきます。
- 避難訓練を年3回実施しました。今後も避難場所や避難経路を確認することで防犯・防災対策に努めます。
- 送迎はボランティア不足のため送迎範囲を対象小学校区内に絞ることで、安定した体制を図ります。
- 広島国際大学眞砂先生からの申し出で、2018年度からこどもくらぶでのボランティア活動をゼミ活動に取り入れられることになりました。
- 2017年度は常勤2人（専従1人、兼務1人）・非常勤8人（一般・学生スタッフ）で毎日3人体制で実施しましたが、大学生は学業や就職活動のため不安定で常に不足していました。2018年度は常勤1人（専従）・非常勤10人（一般・学生スタッフ）でスタートしましたが、3人体制を安定させるため今後は常勤1人と非常勤若干名を募集します。

(5) 地域活動

① 目的

- 地域貢献活動を通して地域への認知度を高め、陽だまりがいざという時に頼れる団体として地域から信頼を得られるように取り組みます。

② お茶会の開催

(人)

	開催日	内容	参加者（高齢者）	ボランティア等
1	5/19	コーラス	10	・社協 2 人
2	7/12	レクリエーション	12	・会員 3 人、一般 1 人、社協 2 人
3	10/5	オカリナ	14	・会員 2 人、一般 1 人
4	2/9	国際交流	16	・会員 2 人
延べ人数			52	13

※ 参加費 300 円、希望者は無料送迎あり。

- 「お茶会」の新規参加者は 6 人でした。三ツ城住民自治協議会のサロンのお手伝いをきっかけに、地域から参加者が出始めました。

③ 小学生のための居場所づくり事業

(人)

	開催日	内容	企画・協力	参加者	ボランティア数 (学生数)
1	8/17	スノードームとフルーツ作り	広島国際大学眞砂ゼミ	30	11 (9)
2	8/21	フルーツ作りとわゴムてっぼう	広島大学 OPERATION つながり	29	13 (11)
3	8/22	めざせ科学者！夏のかがく教室	近畿大学クローンライフボランティア	19	5 (3)
4	3/27	ころころわくわくホットケーキ	広島国際大学眞砂ゼミ	29	15 (13)
5	3/29	コマ作り&クッキング	広島大学 OPERATION つながり	30	14 (12)
6	4/4	陶芸	ねるこ窯、広島国際大学眞砂ゼミ	33	12 (10)
合計				170	70 (58)

※ 参加費 1,500 円（昼食代、材料費、保険料込）

- 近隣高校 8 校にボランティア募集の案内を出し、黒瀬高校・西条農業高校・総合技術高校から延べ 16 人の参加がありました。将来の進路に繋げて参加する生徒が多かったです。
- 広島国際大学眞砂先生から、2018 年度からこどもくらぶでのボランティア活動を長期休み以外のイベント等を含めてゼミ活動に取り入れたいと申し出がありました。学生が成長する場として評価された結果と受け止めています。

④ 地域行事等への参加

	月日	内容	主催	参加者
1	4/11	福祉部会	三ツ城自治協議会	石井、市川
2	6/16	福祉部会	三ツ城自治協議会	石井、市川
3	7/27	ふれあい・いきいきサロン	三ツ城自治協議会	石井、市川

- 地域行事「光の宴」は天候不良で中止となりました。

⑤ フリースペースの貸し出し

(回)

	団体・グループ	内容	利用回数
1	バナリナ	子育てママのオカリナ教室	8
2	p o n a m a	保活、復職イベント	1
3	こどもくらぶ保護者	色育	1
4	こどもくらぶ保護者	打合せ	1
合計			11

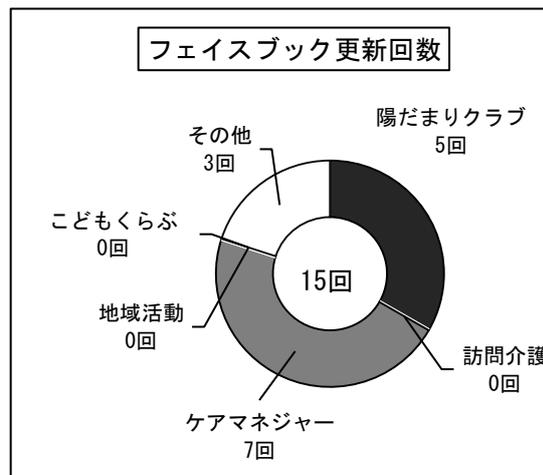
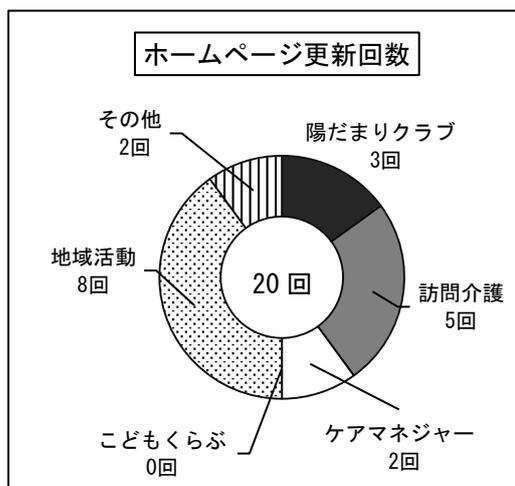
- 利用回数は2017年度より微減でしたが、3つの団体・個人が新たに利用しました。
- 地域で活用してもらえるように、住民自治協議会・福祉部会に働きかけていきます。

(6) 広報活動

① 陽だまり通信

- 47号(7月)、48号(12月)、49号(3月)を発行し、西条中央地区で回覧しました。

② ホームページ・フェイスブック



- ホームページは前年度より更新回数が増えました。求職者やボランティア応募者等がホームページを閲覧し応募してくるため、今後も重要なツールとして意識付けを図っていきます。
- フェイスブックは不十分だったため、更新操作を全スタッフが習得できるようにします。

(7) その他の活動

① マネジメント力の強化

① - i 研修報告

	月日	テーマ	主催	参加者
1	7/1~2	理事1泊研修「5年後に実現したい状態～中期計画～」	NPO法人陽だまり	8/9人
2	2/15	クラウドファンディング勉強会・相談会	エネルギー・コミュニケーショングループ	佐々木 福田

① - ii 発表・展示・講師派遣

	月日	内容	主催	講師・手伝い
1	6/21	認知症サポーター養成講座	東広島市高齢者支援課	市川
2	9/20	認知症理解促進イベント	東広島市地域包括支援センター	市川
3	11/18-19	東広島市生涯学習フェスティバル (ボランティア活動発表展)	事務局：東広島市教育委員会生涯学習課	石井、市川 佐々木、福田 山本、寺内
4	1/29	三ツ城小学校認知症講座	東広島市社会福祉協議会	石井、市川
5	3/10	福山市おでかけ支援事業運営者講習会	福山市	石井、市川 佐々木
6	3/15	たちまち全員集合	事務局：広島県県民活動課	市川、寺内

- 広島県移動サービスネットワークの活動を通して縁のできた福山市から、初めて運転者講習会開催の依頼がありました。

② まちづくり・協働・ネットワークへの取り組み

② - i 委員の委嘱

	会議名	担当課	委員
1	東広島市福祉有償運送等運営協議会	高齢者支援課	宮本
2	東広島市夜間・休日急患センター設置委員会	健康増進課	市川
3	東広島市市民協働のまちづくり推進会議	地域づくり推進課	市川

③ 助成および寄付

	内容	寄付団体等	金額
1	寄付	個人135件、企業・団体5件	1,161,150円
2	マツダ・移動支援団体応援プログラム	事務局：日本NPOセンター	200,000円
3	クラブ賞	国際ソロプチミスト東広島	50,000円
合計			1,411,150円

